

剪定屋便り

vol,4 台風の際に心配な木

剪定屋 安行椿の稲垣です。
お庭の樹木の管理を
ご自身でやられている方の
参考になる情報をお伝えする
「剪定屋便り」
よろしければご覧ください。

事前に木のチェックを

秋に増える台風。

台風が接近する日やその翌日は、
お客様から倒木や傾いた木の伐採の連絡を
受けることが多く、チェーンソーを整備して
すぐに動けるように待機しています。
今回は、強風を受けた時、倒木や枝折れの
危険の高い木をご紹介します。
台風前のお庭の木のチェックに
お役立てください。



危険木 (1)

手で押すとグラグラ
揺れる木



根が十分に張れていない木や根が腐った枯れ木は、軽く押すだけでグラグラと揺れます。もし倒れた時に歩行者や隣家、家屋等にあたりそう場合は、伐採も検討した方がいい状態の危険木です。

危険木 (2)

根元に大量の穴が
ある木



根元付近に大量の穴がある場合は注意が必要です。ソウムシやカミキリムシの食害により木の内部や根が空洞になり、倒木の危険性が高くなっている可能性があります。

危険木 (3)

キノコのような
ものがある枯れた枝



木全体は元気でも、よく見ると太い枯れた枝にキノコのようなものがあると注意が必要です。バッサリと枝を切った後、木を腐らせる菌が入ってしまい、枝が脆くなっている可能性があります。